

平成 20 年 5 月 16 日
総務省統計研修所

統計研修所におけるマイクロデータを使用した共同研究の試行の概要

統計研修所では、統計調査あるいは統計研修の改善・発展に資するため、各分野の専門家を客員教授又は客員研究官として招へいして統計局で実施している統計調査のマイクロデータを使用したより多面的な分析や新しい手法を用いた分析を行うとともに、マイクロデータ利用上の安全管理等運用面の知見を得るため、平成 15 年度よりマイクロデータを使用した共同研究を試行的に実施している。その概要は、以下のとおり。

1 実施手順

- (1) 外部有識者（大学教授、准教授等）を統計研修所の客員教授、客員研究官として任命
 - ・ 研究計画書（別添参照）を受領
 - ・ 客員教授、客員研究官は非常勤の国家公務員
 - ・ 委嘱期間（研究期間）は、原則 1 年以内
- (2) マイクロデータの使用
 - ・ 統計法上の目的外使用
 - ・ 使用場所は統計研修所内のマイクロデータ共同利用研究室内に限定
- (3) 中間報告
 - ・ 研究の過程で少なくとも 1 回は中間報告を実施
- (4) 研究成果・報告
 - ・ 研究成果となるリサーチペーパー用研究論文を研究期間内に提出
 - ・ 共同研究報告会において、研究成果を報告
- (5) リサーチペーパーの刊行
 - ・ 提出された研究論文を、リサーチペーパーとして刊行し、統計研修所のほか、統計局等の関係機関に配布

2 実績

	グループ数	客員教授等	使用データ
15年度	2	4名	労働力調査特別調査
16年度	7	11名	事業所・企業統計調査、商業統計調査、賃金構造基本調査、就業構造基本調査、家計調査、貯蓄動向調査
17年度	7	13名	事業所・企業統計調査、商業統計調査、賃金構造基本調査、就業構造基本調査、家計調査、貯蓄動向調査、科学技術研究調査
18年度	6	12名	科学技術研究調査、全国消費実態調査、労働力調査、労働力調査特別調査、家計調査、貯蓄動向調査
19年度	6	10名	労働力調査、労働力調査特別調査、家計調査、貯蓄動向調査、社会生活基本調査、全国消費実態調査

(別紙1参照)

3 運用上の留意事項

(1) 専用の設備(別紙2参照)

- ・ 部屋(データ処理を行う部屋、その他事務室など)
- ・ サーバー及びクライアントPC(外部と非接続)
- ・ 厳重な入退室管理システム 等

(2) 安全管理のための措置

- ・ データのサーバーへの登録、バックアップを含むデータ管理
- ・ 分析結果等の内容確認(秘匿の必要性を審査)
- ・ 外部へ持ち出す電磁的媒体の複写管理 等

4 今後の方向性

新統計法の施行により「匿名データ」を利用した研究が来年度以降広く実施されていくと考えられるが、統計研修所としては、以下に述べるような「匿名データ」では対応できない研究等を通じ、統計調査あるいは統計研修の改善・発展に資するため、今後とも引き続き実施することとしている。

- ・ 秘匿処理が十分にできない調査に係る研究
- ・ 小地域で詳しく調べたい研究
- ・ 複数のマイクロデータをリンケージする研究 等

別添

研究計画書記入事項

- 1．研究題目
- 2．研究目的（研究成果の意義や用途を含めて具体的に記入する。）
- 3．使用データ（統計調査の名称及び年次、使用する調査事項の範囲）
- 4．研究内容（作成予定の統計表の概要・様式、分析手法、使用ソフト、研究体制など）
- 5．研究日程（データハンドリング等の期間、データ解析期間、リサーチペーパー用論文執筆期間、論文提出予定日等）

別紙 1

最近の共同研究テーマ及び研究者（平成 18 年度以降）

「類型別世帯の推計及び貯蓄関数に関する研究」[全国消費実態調査]

小川 直宏（日本大学総合研究大学院教授）

松倉 力也（日本大学総合研究大学院助手）

「科学技術研究費の構造分析」[科学技術研究調査]

竹内 啓（東京大学名誉教授）

鈴木 潤（芝浦工業大学大学院工学マネジメント研究科教授）

「家計の資産保有に関する研究」[全国消費実態調査]

稲葉 由之（統計研修所教授）

櫻井 尚子（東京情報大学総合情報学部助教授）

「景気循環と構造変化による就業・無業への影響に関する研究」[労働力調査特別調査及び労働力調査]

玄田 有史（東京大学社会科学研究所教授）

太田 聡一（慶應義塾大学経済学部教授）

「家計調査を用いた長期データの作成と応用：パネルデータによる家計消費の分析」[家計調査]

宇南山 卓（神戸大学大学院経済学研究科所准教授）

「家計調査と貯蓄動向調査の分析 - 資産・所得の分布と消費の構造」[家計調査及び貯蓄動向調査]

美添 泰人（青山学院大学経済学部教授）

荒木 万寿夫（青山学院大学経済学部准教授）

両角 良子（富山大学経済学部講師）

「非正規就業・失業、安定雇用間の参入・退出要因に関する研究」[労働力調査及び社会生活基本調査]

永瀬 伸子（お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科教授）

水落 正明（三重大学准教授）

「高校卒男性の労働市場の構造的特殊性に関する再検証」[労働力調査特別調査及び労働力調査]

玄田 有史（東京大学社会科学研究所教授）

太田 聡一（慶應義塾大学経済学部教授）

「未就学児のいる世帯の所得をめぐる状況について」[家計調査及び全国消費実態調査]

山田 昌弘（中央大学文学部教授）、

金原 あかね（大阪成蹊短期大学非常勤講師）

注) 肩書きは研究期間終了時のもの

別紙 2

マイクロデータ共同利用施設の概要

1 ミクロデータ共同利用研究室

(1) ハードウェア

サーバー及び管理用PC（別区画）、クライアントPC（4台）、プリンタ

(2) ソフトウェア

SPSS、Stata、R等

(3) その他

入退出管理等（磁気カード、監視カメラ等）

2 客員教授室

6名分の机、椅子、キャビネット及びパソコン